



# 教職員としての確かな力量をめざして

次長 河川 眞佐男

冬の寒さにじっと耐えてきた桜の木々が満開の花に彩られる春がもうすぐ訪れます。生きとし生けるもの全てが動き出そうとする季節となりました。

平成24年度の諸事業も皆様方のご支援、ご協力のもと無事終えることができました。深く感謝申し上げます。

1月末の集計では初任者研修をはじめとする指定研修や希望研修で延べ17,252人の方が受講されました。学校園からの要請を受けて行った出前支援、出前発表には支援件数194件、延べ5,041人もの先生方に参加いただきました。また、研究事業においては、県内の研究協力校とトータルアドバイザー、専門委員、研究委員の皆様のお力添えのもと17本の研究を行い、その成果を発表することができました。多様化する教育課題への対応において、少しでも先生方のお役に立てればと思います。

さて、厳しい社会情勢の中、学校教育に寄せられる県民の期待や願いにしっかりと応えることは教育に携わる私たちの責務であります。特に、本県が目指す児童生徒の「確かな学力」・「豊かな心」・「健やかな体」の育成において、授業力や生徒指導力など教職員としての確かな力量形成を図ることが重要な課題であると考えます。

そのため、来年度に向けて組織や研修体系などの見直しを行いました。組織については、総合教育センターとして取り組むべき教職員研修と教育課題研究の方向性をより明確にするため、担当グループ名の改称を行いました。従来の研修担当を「資質向上・教育研修担当」とし、専門性向上への研鑽と実践的指導力の伸張を目指します。また、研究担当を「学力向上・評価研究担当」とし、先導的実践研究と調査・評価研究を行い、学力向上支援と評価研究の普及に努めたいと考えております。また、研修体系では、初任者から教職3年次までを若手教員研修と位置付けた研修に次年度から年次進行で移行します。

来年度も、より現場のニーズに応える総合教育センターであることを念頭に置き、本県教育に寄与できるよう取り組んで参ります。どうぞ宜しくお願いいたします。



次長 河川 眞佐男 画



## 研究事業 研究成果物を学校や地域に！

### 平成24年度 研究一覧

#### 教科・領域等

- 話し合い活動の基盤となる「話し合う力」を高める指導
  - 立場や考えを明確にして話し合うことを通して-
- 古典に親しむ態度を育む授業の在り方
  - 現代とのつながりを考える学習活動を通して-
- 小学校算数科と中学校数学科との接続に配慮した指導の工夫
  - 文字を用いた式のよさを味わうことができるようにする指導を通して-
- 説明する力を高める中学校数学科の授業の在り方
  - 数学の用語・記号を適切に用いることを通して-
- 現象を科学的に説明する力を育む小学校理科指導の在り方について
  - 科学的な概念を獲得し、活用する力を高める指導の工夫-
- 中学校英語科における確かなコミュニケーション能力の育成
  - 「書くこと」と「学び合い」を生かすフィードバックの試み-
- 高等学校における道徳教育の充実に関する研究
  - 教科・科目における指導の工夫とホームルーム活動の時間の学習プログラムの作成-
- 「体育理論」を運動領域で題材とした授業づくり
  - スポーツマンシップを題材とした学習を通して-
- 自他を認め、人と豊かに関わろうとする態度の育成
  - 小学校低学年の児童がつながりを深める学習の展開-
- 環境に働きかける実践力を育てる学習
  - 二酸化炭素に着目した学習プログラムの作成-
- 教員の資質能力の向上を図る校内での研修の在り方
  - 組織的、計画的なOJTによる若手教員の育成の一方案-

#### 特別支援教育

- 中学校における特別支援教育の手法を取り入れた授業の進め方
  - 特別な支援を要する生徒の指導に有効な「特別支援教育の知恵袋」の作成と活用を通して-
- 特別支援学校における道徳教育の進め方に関する研究
  - 各教科等を合わせた指導の中で道徳の学習プランの作成-
- コミュニケーションの力を引き出す教師の働きかけに関する研究
  - 特別支援学校の朝の会におけるやり取りの分析を通して-

#### 情報教育

- 全国学力・学習状況調査結果の活用に向けた支援に関する研究
  - 分析支援システムの改良と調査結果活用ロードマップの作成-
- 思考力・判断力・表現力等の育成を支援するICT機器活用の在り方
  - 電子黒板やタブレット端末を効果的に活用した協働学習の授業実践-
- 中学校・高等学校理科で科学的な自然観を育てるデジタル教材の開発
  - 宇宙における元素合成や放射線学習について学ぶ教材『我々は星のかけらから生まれた』-

#### 平成24年度 「第55回 研究発表大会」

2月21日(木)に当センターで研究発表大会を開催しました。県内外から多数の教育関係者にご参加いただきました。



#### ●教育学習情報システムで取り出せます！

いつでも

いつでも

どこでも

地域・学校園での研修会等において、センター所員が研究の成果を発表します。

研究紀要・要旨集・研究ダイジェストCD 教育学習情報システムなどをご覧いただき、活用したい研究の発表依頼を、下記までご連絡ください。

TEL 077-588-2311  
FAX 077-586-0011

#### ●要旨集・研究ダイジェストCDで見られます！ (3月に各校へ配付予定)

要旨集

★1研究につき 見開き2ページ

★研究の概要がすぐわかる！

お手軽に

#### 研究ダイジェストCD

★映像と音声で紹介！

★1研究3分の動画！

★全研究を収録！

#### 図書資料の貸出業務終了について

長年、ご利用いただいております当センター図書資料の貸出しを、平成25年2月末日をもって、終了することとなりました。なお、教育雑誌等を含む図書資料の閲覧は可能ですので、今後ご利用ください。



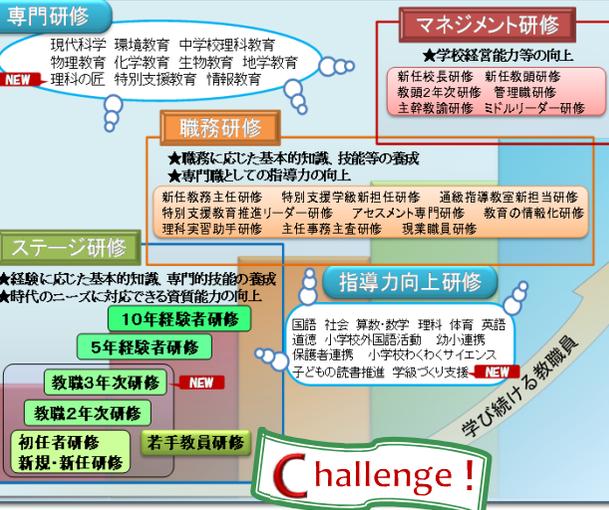
# 平成25年度 総合教育センターは変わります！ 教職員の専門性・指導力と資質の向上を目指して



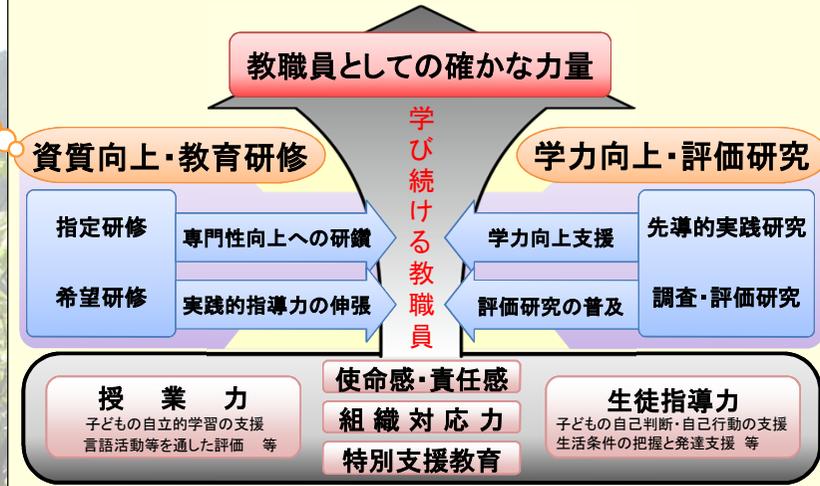
## 資質向上・教育研修

教職員の指導力向上につながる研修を行います！

- 指定研修
  - 講義だけでなく、演習・実習を中心に、系統立てて研修を組み立てました！
  - ☆ステージ研修
  - ☆職務研修
  - ☆マネジメント研修
- 希望研修
  - すぐに授業に生かせる指導力の基礎基本の定着と専門性の向上を目指します！
  - ☆専門研修
  - ☆指導力向上研修



## 「確かな学力」・「豊かな心」・「健やかな体」を育成



## 学力向上・評価研究

児童生徒の学力向上につながる支援を行います！

- 教育の情報化推進
  - 教育の情報化推進にかかる研修をサポートします。
  - ①情報モラル教育と情報セキュリティの向上について
  - ②ICT機器活用の教育効果と授業づくり
  - ③初級者向けの実技研修会
- 学力向上支援派遣
  - センター所員が学力向上につながる出張支援を行います。
  - ①研究成果の普及
  - ②地域・学校園における研修会や研究会での助言



(平成24年度出張支援実績(1月末) 194件、対象人数 約5,041人)

●しがe-センター  
様々な教育用コンテンツが利用できます。



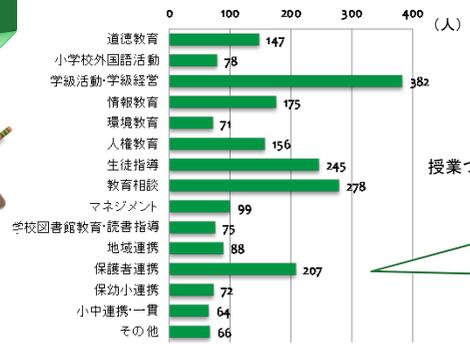
## 平成24年度総合教育センター事業にかかるアンケート結果より(8月に実施)

県内の幼、小、中、高、特別支援学校の教職員や市町教育委員会、教育研究所を対象に、総合教育センター事業(研修、研究、特別支援教育相談、学校支援)についてのアンケートを実施しました。その中からいくつかを紹介します。  
いただきましたご意見を、当センターの運営に生かしていきたいと思っております。

\*回答数は、910人でした。ご協力ありがとうございました。



### 参加したい研修・講座



### 出張支援に望むこと



今年度のアンケートから「教科教育」および「特別支援教育」を別設問にしました。「教科教育」の内容では、実習や演習を望む声が多く、「特別支援教育」では授業づくり、授業の進め方などの実践論の講義や演習に対するニーズが高いという結果になりました。

### 期待する研究内容

